

今後の取組みについて

東京証券取引所 上場部

2026年8月6日



今後の取組み

資本コストや株価を意識した経営の推進（プライム市場など）

- 「経営資源の適切な配分」に向けた取組みの推進
 - 要請アップデート（2026年4月）・C Gコード改訂（2026年7月）後の企業の対応状況のフォローアップ【2026年夏～】
- 「投資家への期待・要望」に関する企業アンケート
 - 企業の対話に関する受け止めを把握、機関投資家・関係機関等と広く連携【2026年8月】
- 「取組みの進展が見られる企業」に関する投資家アンケート
 - 回答数や評価コメントなどを公表し投資家にアピール【2026年8月】※事例集アップデート【2026年秋～】、セミナー・個別訪問【継続】
- 開示していない企業への実務支援【2026年秋～】
 - 【リソース不足等で開示していない企業】サポート施策を検討実施
 - 【あえて開示しない方針の企業】その理由・方針の開示

資本コストや株価を意識した経営を推進する中での課題

親子上場等

- グループ経営や少数株主保護に関する検討・開示を推進
 - 持分法適用会社等へのアプローチなど【2026年秋～】
 - 親子上場等の企業向けに他社事例や投資家の目線などを紹介するセミナーなども実施予定【順次】
- 少数株主保護のための上場制度の整備（少数株主の賛成割合等の開示、独立性基準の見直し）【2026年7月施行】

完全子会社化・MBOが増加する中での課題

非公開化

- 特別委員会における検討の実効性向上や必要な情報開示の充実を推進

グロース市場改革

- 上場維持基準の見直し（5年100億円）【2030年～】
 - 制度改正済み【2025年】
- 高い成長の実現に向けた働きかけのフォローアップ
 - 企業の取組み状況・投資家評価の振返り【順次】
- グロース企業・未上場企業の課題等の把握【2026年6月】
- グロース市場の発展に向けた施策の検討
 - 「グロース市場の発展に向けた検討会」を開催し検討を開始【2026年8月～継続開催→順次施策を実施】※ 事例集のアップデート【2026年秋～】、グロース向けセミナー、機関投資家との対話会【継続】

（参考）T O P I X の見直し（第2段階）

- スタンダード・グロースからも組み入れ（2026年10月以降）

- プロマーケットの機能発揮（一般市場上場と非上場の間の活用ニーズへの対応）【継続】

スタンダード市場におけるサポート

- 「資本コストや株価を意識した経営」を開示していない企業への実務支援【2026年秋～】

投資家保護上問題のある事例への対応

- 上場適格性に重大な懸念が生じる企業内容の大幅な変更（上場企業の不公正ファイナンスへの利用の懸念等）への対応【継続】

※ 経過措置の終了に伴う対応（株主・投資家への周知・注意喚起）【継続】